

地震リスクマネジメントと事業継続性に関する小委員会 WG3（第4回） 議事録

日 時 平成 21 年 4 月 14 日（火） 10：30～12:00

場 所 土木学会 E会議室

出席者 委員長 : 吉川

WG3 メンバー : 岸下、中野、広中、福岡、山川

他 WG メンバー : - 以上 6 名（敬称略）

配布資料 資料 1 WG3（第 3 回）議事録

資料 2 WG3 「BCP の現状と課題」-活動状況-(第 2 回小委員会提出資料)

議 事

1. 前回議事録の確認（資料 1）

- ・ 内容を確認し、承認された（誤記が一箇所あるためそれを修正：「2/23」→「2/27」）。

2. 小委員会の今後の活動予定について

- ・ 吉川委員長より、年内を目標に、小委員会でセミナーを開催する予定であることが報告された。

3. これまでの活動状況報告と今後の方針について（資料 2）

- ・ 現状の B C P の問題点の総括は、コンサルタント等の B C P を提供する側からの意見の側面が強い。B C P を策定する事業主体がどうすべきかを課題として挙げることも必要である。
- ・ 「B C P の問題点」という、やや後ろ向きな表現よりは、「B C P の課題」という前向きな表現を行う方がよい。
- ・ 既存のガイドライン等を実際に読み込み、詳細を把握するような活動も行うべきではないか。
- ・ 実際の企業において策定された B C P を題材として、内容を調査し、その課題と対策を議論していくべきであると考えられるが、会社経営上の機密事項も関係するため、企業 B C P は一般に公開されておらず、入手は難しい面がある。
- ・ 企業 B C P についても、内容についてのコンサルティングと改善の提言といった、企業にとってのメリットのある提案ができれば、B C P の内容を提供や、ヒアリングが実施できる可能性がある。
- ・ B S I（英国規格協会）が事業継続マネジメント（B C M）を実現するための規格 B S 25999 を発行しており、これを読み込み、調査するのも一つの方法である。
- ・ B C P に関しては対象とする課題に広がりがありすぎるため、目的を明確にした検討が必要である。そのため、実質作業を行う前に、W G メンバーの意見出しを行う機会を作り、方向性を明確にするべきである。

#### 4. 次回 WG の予定について

- ・ 次回 WG では、今後のWG3の活動方針を定めるため、WG3のメンバーが以下の内容のメモ（A4で1,2枚程度）各自作成し持ち寄り、議論を行うものとする。
  - ✓ 現状のBCPの課題・改善点に関する意見
  - ✓ 本WG全体で実施すべき事項の提案
  - ✓ WGの活動の中で自身が行いたい事項
- ・ 次回WG3は以下の候補日より、中野委員の東京滞在時のご都合を鑑みて決定する。
  - 日時：平成21年5月18日（月） 17:00～19:00
  - ：平成21年5月19日（火） 10:00～12:00
  - ：平成21年5月19日（火） 17:00～19:00
  - ：平成21年5月20日（水） 10:00～12:00

場所：土木学会 会議室

後日、調整の上、決定した日程は以下の通り。

日時：平成21年5月19日（火） 10:00～12:00

場所：土木学会 D会議室

以上 （記録：福岡）